



町制施行50周年

～只見町50歳の誕生日を祝う～

8月1日、季の郷「湯ら里」において町制施行50周年を祝う記念式典と、併せて只見町表彰式・公共施設落成式及び祝賀会が行われ、只見町50歳の誕生日を祝いました。

只見町は、昭和30年に只見町と明和村が合併し只見村に、さらに昭和34年に朝日村が合併、8月1日に町制を施行しました。以来五十年、幾多の困難を乗り越え、豊かで住みよい只見町を築くため町民全員が汗を流し、堂々と今日の只見町を築き上げました。

8月1日の記念日を期に、さらに新たな希望の時代へと、全町民一丸となって歩み続けて参りましょう。



第1部・記念式典

式典は、これまで町政の発展に尽くされた町民の皆様感謝申し上げ、本町の歴史と文化そして現在まで育まれてきた大切

なものを次世代へと引き継ぐ機会とし、新たな只見町の発展と活性化を目指し行われました。はじめに、目黒町長が式辞を述べ、続いて齋藤町議会議長の

あいさつがあり、次に佐藤雄平福島県知事、渡部恒三前衆議院議員、渡部篤前衆議院議員、渡部博福島県議会議員、南会津地方町村会代表湯田雄二下郷町長より来賓祝辞をいただきました。また、式典では只見町公認自然インストラクター「ただみ・自然案内人」認定証の授与式も行われ、2年間の講習を受けられ審査会を経て合格された13名に認定証が授与されました。インストラクターの方々は今後、町のブナを中心に自然や文化を分かりやすく多くの皆さんに伝えるため自然案内人として活動いただきます。

最後に、町の将来を担う保育所年長児37名によるお祝いメッセージ「大好き！只見町」が贈られ、只見音頭に合わせたの踊りが披露されると、会場は和やかな雰囲気包まれ式典は終了しました。

第2部・表彰式

記念式典に引き続き、只見町表彰式・公共施設落成式が行われ、只見町表彰条例に基づき49組53名の方が表彰を受けました。また、公共施設落成感謝状が工事関係者に贈られました。

表彰は特別功労表彰から順に功労表彰、顕彰、善行表彰、永年勤続表彰、感謝状と行われ、続いて公共施設の落成に尽力された工事関係者に感謝状が贈られ、最後に受賞者を代表され特別功労表彰受賞者の小沼昇さんがあいさつをされました。受賞者は別表に記載の方々です。

第3部・祝賀会

記念式典終了後、只見町の町制施行50周年及び表彰の受賞者、公共施設の落成を祝い、祝賀会が開かれました。

開会の後、目黒町長が主催者を代表しあいさつしました。続いて特別功労者、元町長の飯塚岩夫さんが音頭を取り乾杯、アトラクションでは、コーラス・はなみずぎ、瞳の会、はぎの会つくし会の皆さんによる歌と日本舞踊が披露され、華を添えました。

結びに特別功労者、元町長の渡部完爾さんの音頭で万歳三唱が行われ只見町の将来の発展を祈念し閉会となりました。



▲特別功労表彰受賞者「小沼昇さん」



▲元気に只見音頭を踊る年長児



▲祝賀会でのアトラクション



▲「ただみ・自然案内人」の認定証授与式

「つなごう 心の灯」

— つなげよう 伝え合おう 地域と地域 —

8月1日が只見町の50歳の誕生日。この特別な記念日には最古の通信手段とも言える「のろし」と「信号弾花火」が只見・朝日・明和の三地区で上げられ改めて合併し誕生した只見町に思いを馳せてみるイベントや、町全体をキャンドルの灯でつなげるキャンドルナイトも町民の皆様のご協力により行われ、家々の玄関前にはキャンドルのほのかな灯りが揺らいでいました。



▲キャンドルを見つめ50周年を祝う



▲只見地区での「のろし」